

大会宣言文

全国連合小学校長会は、結成以来、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

本大会では、第七十二回京都大会から五年目となる大会主題「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の実現を目指し、これまでの研究成果と課題を引き継ぎ、組織をあげ鋭意努力して取り組んできた。

現在、最先端技術の高度化、グローバル化の進展、地球規模の課題や国際情勢の不安定化など、社会の変化が加速度を増し、先行きが不透明で、予測困難な時代を迎えている。また、少子高齢化、人間関係の希薄化、家庭の教育力低下、子どもの貧困など、様々な社会課題が存在する中、これらの社会を展望する上で、教育の果たす役割はますます重要となっている。

このような中、子どもたちが今後も未来社会を豊かに健やかに生き抜くことができるようにするため、一人一人が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる力を身に付けられるようにすることが求められている。

そのため、小学校教育においては、誰一人取り残さず、全ての子どもたちの可能性を引き出すため、個別最適な学びと協働的な学びのより一層の一体的充実に図り、「主体的・対話的で深い学び」を実現することにより、「生きる力」を確実に育むことが重要である。

また、今日的な課題として、コロナ禍や東日本大震災をはじめとする自然災害等における教訓と取組を共有し、風評被害や風化防止対策を講じ、各地域の状況を踏まえながら子どもたちが健康・安全で活力ある生活を送るための基礎が培われるよう配慮することが求められている。

私たち校長は、徳島大会における副主題「夢と志を持って 多様な人々と協働しながら 持続可能で豊かな未来を切り拓いていく人財を育む学校経営の推進」を基盤に据え、「学校を元気にする」という思いを持って、小学校教育の推進に全力を傾注し、国民の信託に応えようとするものである。

ここに、第七十六回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

記

- 一、自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一、夢と志を持って、多様な人々と協働しながら、持続可能で豊かな未来を切り拓いていく人財を育む学校経営の推進
- 一、「生きる力」の育成を目指した創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善
- 一、学校教育活動全体を通じて、豊かな心の育成を図る道徳教育の推進
- 一、主体的に判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の推進
- 一、学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域等との連携・協働による教育活動の充実
- 一、安全で安心できる教育環境づくりの一層の推進
- 一、校長自らの研鑽と、教職員の資質・能力の向上を図る現職教育の充実
- 一、教育の質を向上させるための「学校における働き方改革」の実現

右、宣言する。

令和六年十月二十五日

第七十六回全国連合小学校長会研究協議会徳島大会